

大切です! バイクの定期点検

点検整備は、バイクの大切な健康管理!

定期点検整備に関するQ&A

① バイクが故障してから整備すれば良いのでは?

お客様の安心・安全のために、定期的な「点検整備」が必要です。

「定期点検整備」は、部品の劣化や摩耗といった状態をチェックするとともに、今後どう変わっていくかも予測して必要な整備を行います。これにより、大きなトラブルや余分な出費を防ぎ、次の点検までの安心を提供します。

② ユーザー車検を受けて合格したので、点検整備は不要では?

「定期点検整備」は必要です。

「車検(車の検査)」は、その時点で国の基準(保安基準)に適合しているかどうかを、テスターや目視によってチェックするもので、車検に合格したからといって、安心して乗り続けられるものではありません。

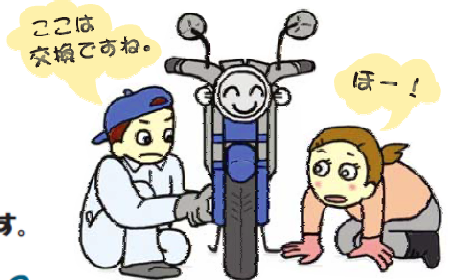
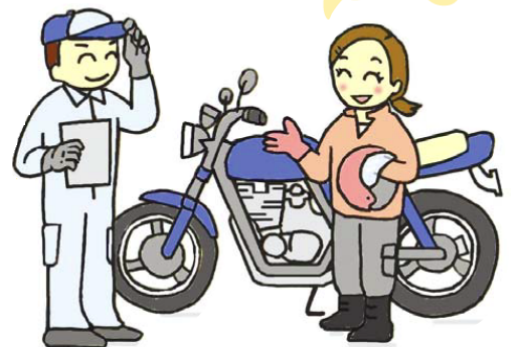
また、ユーザー車検には、認証(指定)工場での「車検」時に併せて実施される「2年定期点検整備」が含まれておりません。お客様の責任で実施いただく必要があります。

③ 250cc以下のバイクは車検がないので、定期点検整備も必要ないのでは?

「定期点検整備」は必要です。

126~250ccのバイクにおいても、安全確保と環境への配慮から、定期点検整備は法令で定められたお客様の義務となっています。

125cc以下の原付バイクにおいても、法律に準じて、各メーカーが同様の定期点検整備を推奨しています。



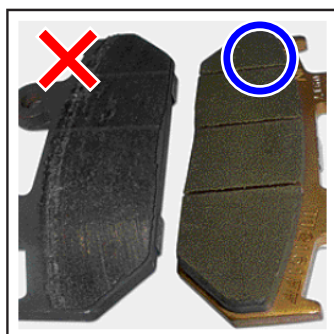
バイクには定期的に交換が必要な部品があります

バイクの部品には、使っているうちに摩耗したり、消耗したりするものがあります。ゴム部品などは経年変化で劣化してしまうため、一定の期間が過ぎたものは、交換する必要があります。

部品の交換時期は、メンテナンスノートを参考にしてください。

部品劣化と不具合の一例

ブレーキ・パッドの摩耗
⇒ブレーキ効き不良



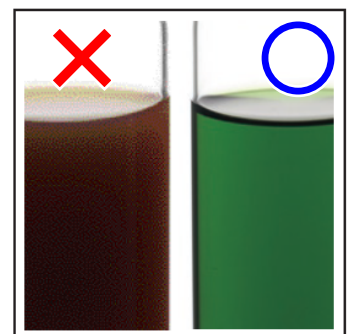
スパーク・プラグの劣化
⇒エンジン不調・始動不良



オイル・フィルタの劣化
⇒エンジン内部破損

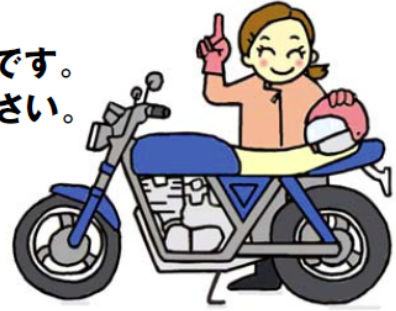


エンジン冷却水(LLC)の劣化
⇒オーバーヒート



バイクは日常点検が大切です!

バイクの乗り方は人によってさまざまです。
毎日乗っている人も、たまにしか乗らない人も、日常的な安全点検が大切です。
お出かけの前に、給油や洗車のついでに、愛車の状態をチェックしてください。



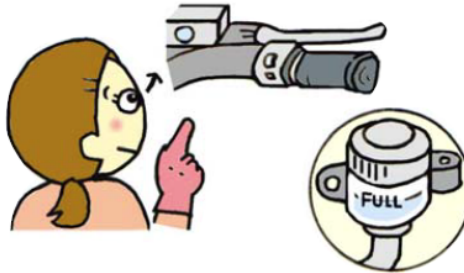
チェックしてみよう 10の安全点検

に を記入しながら、
実際に安全点検をしてみましょう。

チェック 1
ブレーキ（前後）
レバー（ペダル）の
遊び、きき具合。



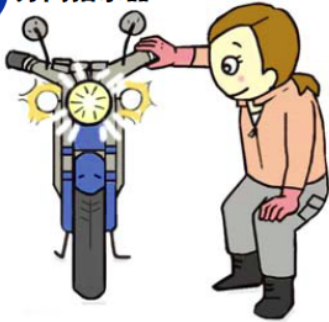
チェック 2
ブレーキ液の量
（前後）



チェック 3
エンジンオイルの量



チェック 4
灯火装置および
方向指示器



チェック 5
タイヤの空気圧
亀裂、損傷、異状摩耗、
溝の深さ。



チェック 6
冷却水の量



チェック 7
エンジンの
かかり具合・異音
バッテリー液の量



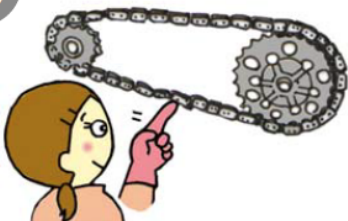
チェック 8
低速・加速の状態



チェック 9
運行において異状が
認められた箇所



チェック 10
チェーンの緩み
たるみすぎ、はりすぎ



日常点検は法律で定められており、ユーザー自身に保守管理する責任があります。1～9は法律に規定された点検項目。10はメーカーが指定する点検項目です。点検整備に関する詳しい情報は、バイクに付属するメンテナンスノートをご覧ください。

⚠ 注意: バイクに異状が認められたときは必ず整備工場で点検整備を受けてください。
適切な整備がされないと、思わぬ事故につながります。